

# 国際家族計画連盟(IPPF)事務局長来日キャリアセミナー

## 世界の女性に健康と権利を～IPPFの使命～

1日に830人の女性が妊娠・出産・安全でない中絶が原因で死亡しています。世界の女性の3人に1人の女性が生涯に身体的・性的暴力を受けています。妊産婦死亡、望まない妊娠、HIVとともに生きる女性の健康と権利、レイプ・紛争下の性暴力・DV・セクハラ・児童婚・人身売買・女性性器切除などのジェンダーに基づく暴力…。これらは「セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康と権利)」推進によって改善されなければならないグローバルな課題です。国際家族計画連盟(International Planned Parenthood Federation: IPPF)は国際赤十字・赤新月社連盟に次ぐ世界的な国際NGO。ジェンダー平等はもちろん、すべての人々がいかなる差別も受けずに、自分の人生を切り拓くことできる世界の実現を目指します。世界のセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの課題と、それに対するIPPFの取り組み、そしてIPPFで働く魅力をご紹介します。



**2018.5.29(火)**

**17:30～18:30(開場17:00)**

**上智大学四谷キャンパス  
2号館17階国際会議場**

**(JR・地下鉄「四ッ谷」駅 徒歩5分)**

### ◆プログラム◆

＜言語：日本語・英語(日本語通訳あり)＞

#### ◆開会の挨拶

嘩道佳明 上智大学長

#### ◆共催者挨拶

外務省

#### ◆「IPPFの使命と役割」

アルバロ・ベルメホ IPPF事務局長

#### ◆「IPPFで働くということ」

谷口百合 IPPFチーフ資金調達  
アドバイザー(東南アジア)

#### ◆質疑応答

#### アルバロ・ベルメホ

#### 国際家族計画連盟(IPPF)事務局長

2018年3月に国際家族計画連盟(IPPF)の事務局長に就任。20年以上にわたる国際医療分野(特にHIV関連事業、人道支援、国際保健政策分野)での経験を有する。国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の保健医療事業部長、国際HIV/AIDSアライアンスの事務局長を歴任。前職は、子ども投資基金財団(CIFF: Children's Investment Fund Foundation)のサバイブアンドスライブ(Survive and Thrive、子どもたちの命と元気な成長を守る)担当事務局長。CIFFでは、思春期のセクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスにフォーカスした活動を統率した。スペイン出身。マドリード・コンプルテンセ大学で医学博士号、のちに英国リーズ大学で修士号(公衆衛生学)を取得。



#### 参加申込はこちらから

<https://eipo.jp/sophia/seminars/>

**対象：大学生、高校生、一般の方**  
**<入場無料/要事前申込>**



共催 国際家族計画連盟(IPPF) 外務省 上智大学 公益財団法人ジョイセフ

後援 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター グローバルヘルス人材戦略センター

＜お問合せ＞ ジョイセフ アドボカシーグループ E-mail [advocacy@joicfp.or.jp](mailto:advocacy@joicfp.or.jp) / TEL 03-3268-3172